

ファナック 株式会社 隼人工場

(電気機械器具製造業)

(霧島市)

工場の自動化を追求したモータ用センサを製造しています。

ファナックは1956年に日本で民間初のNCサーボ機構の開発に成功して以来、一貫して工場の自動化を追求してまいりました。ファナックの基本技術であるNCとサーボ、レーザから成るFA事業と、その基本技術を応用したロボット事業及びロボマシン事業の三本柱に加え、IoT事業を展開しています。

隼人工場はFA事業に位置するサーボモータ用センサを製造する専門工場として、1991年12月にここ鹿児島県の地で操業を開始しました。

会社概要

2024年3月1日現在

■所在地 〒899-5116
鹿児島県霧島市隼人町
内2277

■TEL 0995-42-8230

■FAX 0995-42-8235

■E-Mail

■URL <https://www.fanuc.co.jp>

■代表者 工場長
菊地 弘文

■設立 1991年12月(隼人工場)

■資本金 690億円(全社)

■従業員数 49人(隼人工場)

■事業概要 サーボモータ用センサ製造

■主要製品 パルスコーダ(モータ用センサ)



工場長 菊地 弘文

FAシステムで重要な部分を占めるサーボモータの制御用センサ製造

鹿児島空港から車で10分と交通の便に恵まれた、17万平米の敷地に3棟の工場建屋が、シラス台地自然林の中に立地しています。

隼人工場で製造している主な商品は、サーボモータの位置や速度を高精度に検出するセンサ(商品名:パルスコーダ)です。FAシステムで成功のカギを握る重要なユニットであり、精密部品で構成されています。組立、調整、試験など自動化の難しい工程もありましたが、自動化が可能な設計に変更し、また新しい製造技術を開発することにより、完全自動組み立てシステムを実現しています。



空から見た隼人工場

ラインを完全ロボット化し、部品の加工・組立・試験を一貫生産

300台を超える自社ロボットを駆使して、部品加工用のNC工作機械及び電動射出成形機などを導入し、部品の加工から組立、調整、試験まで一貫して行っています。高度にロボット化された組立セルにより、最新のパルスコーダの機構部の組立やプリント板の組付など50に及ぶ工程が無人で行われています。工場内には本社と結合されたLANが張り巡らされ、生産の進捗状況や設備の稼働状況が時々刻々モニターされています。

夜間休日無人運転が可能であり、13万台のパルスコーダを始めとするモータ用センサを製造する能力があります。



サーボモータの制御用センサ



組立ライン



組立ライン



部品加工用のNC工作機械